

西暦 2023 年 7 月 19 日

当院で健診を受けられた方およびご家族様へ

臨床研究へのご協力をお願い

J A 高知病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法について詳細をお知りになりたい場合、また、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら下記の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

「研究課題名」 健診受診者にみられるサラセミア疑い症例の検討

「研究責任者」 健診科 岩村伸一

「研究の背景」

サラセミアは、ヘモグロビン（酸素を運ぶ赤血球中のタンパク質）の合成障害を特徴とする遺伝性疾患であり、鉄欠乏性貧血と同じ小球性貧血（赤血球の大きさが正常よりも小さくなっている貧血）を引き起こします。日本人におけるサラセミアの頻度は α 型 0.03%、 β 型 0.1%と稀ではなく、鉄欠乏性貧血とサラセミアでは治療法が異なるため、両者を鑑別する必要があります。サラセミアの確定診断は遺伝子検査によりますが、日常診療や健診で実施されている末梢血一般血液検査において Mentzer Index [メンツァー指数：平均赤血球容積(fL)/赤血球数($\times 100$ 万/ μ L)] が 13 以下の方はサラセミアが強く疑われます。Mentzer Index の算出は簡便で追加のコストもかからず、サラセミア診断の一助となりえますが、健診において Mentzer Index を算出することの有用性についてはこれまで十分には検討されていません。

「研究の目的」

健診時に、診断に至っていないサラセミア疑い症例を見つけ出すことは、不必要な鉄剤投与を防ぐ可能性があります。本研究では、健診時に実施した末梢血一般血液検査を用い、Mentzer Index \leq 13の方を抽出してその頻度を解析します。さらにMentzer Index \leq 13の方について、サラセミアの確定診断の有無や鉄剤での治療歴についてカルテ情報から調査し、健診においてMentzer Indexを算出することの有用性について検討します。

「研究の方法」

過去に健診を受診された方の既存のカルテ情報から必要な情報（既往症・血液検査）を抽出して解析します。Mentzer Index \leq 13の方には、カルテ情報を用いて、治療内容、治療の反応性や予後などについて解析します。

「研究の対象」

西暦2021年4月1日から西暦2023年3月31日まで、当院で末梢血一般血液検査を受けられた健診受診者

「研究組織」

この研究は、当院の健診センターのみで実施されます。

「個人情報の扱い」

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

「問い合わせ先」 高知県厚生農業協同組合連合会 J A 高知病院

担当者：健診科 川村富紀

電話番号： 088-863-8510（平日8：30～17：00）